

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 11 日 (16 : 45～17 : 30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 石丸・藤井・塩谷・大久保・小原・山下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6	10	1	3	20

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・サービス開始以前に利用していた事業所に日中の過ごし方や居心地の良い状況の情報収集を行う。</li><li>・可能なら利用開始前に家族と見学、体験利用をしてもらい職員も直接会う機会を作る。家族も直接事業所を見てもらい、過ごし方のヒントをもらう。</li><li>・利用開始後初の利用曜日には自己紹介をしてもらい、利用者の中の一員だと認識してもらうように働きかける。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・どの改善計画も積極的には行えていた。</li><li>・体験利用には関して門戸は開いていたが、ニーズがなかったといえる。</li><li>・関わりも初期には自己紹介や挨拶をってもらうよう他利用者に紹介するなどに対応できた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	6	11		3	20
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	10	4	2	20
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	6	10	1	3	20
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	10	2	4	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・個人ファイルでの情報収集。面接報告や担当者会議の記録を出来るだけ早く情報共有し、初利用までの情報収集が行えた。</li><li>・業務ノートでもケースを引き継ぎ、次回以降の利用の参考にすることが出来た。</li><li>・初回利用前には家族が金閣を見学される事も多く家族の顔も見る機会は少しでも増えている。</li></ul>

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・個人ファイル、業務ノートの情報収集には個人差があった。情報が回覧で開示されていても、しばらく経っても読まれていないこともある。また、読んでいても文面だけでは理解が難しいこともあった。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・新規利用前に情報を収集し、疑問点も含めて事前に議論できるように意見を集める。</li><li>・事故や転倒リスクの高い送迎を安全に行えるように業務ノートや口頭で引き継ぐ。</li><li>・利用開始後のサービスの再調整を早期に行うこと。また、直接援助以外にも利用者の趣向や生活史などを大切にしたい受け入れを継続していく。</li></ul>

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 14 日 (14 : 00～15 : 15)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 石丸・藤井・塩谷・大久保・小原・山下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	11	2	3	20

前回の改善計画
・ケアプラン作成時には確実に介護計画に反映できるように、CM・担当介護職で計画の見直しを行う。 ・担当利用者にこだわり過ぎず、多くの利用者との接する場面を作り各々の気づきを共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果
・CM・担当介護職や出席できる介護職で担当者会議に出るようにして、計画への反映もしやすくなった。本人・家族の話をゆっくりと聞く機会も出来、事業所からの提案も出来るようになっている。 ・物事の緊急度によってその場で対応するか、担当職員に情報提供するかを判断した。担当職員から利用者の目標や気づきについてはもっと発信できると良いと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	2	7	8	3	20
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	11	4	3	20
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	8	6	3	20
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	9	3	4	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の直近での希望や要望にはすぐに対応できた。個別外出などで次の希望やしたい目標を聞くこともでき継続的な援助が出来ていた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・日々の関わり中で目標を意識した関わりは出来ていない場面もあった。 ・本人が当面の目標を忘れていたり意識していないこともあり、日々関わる援助は本人のどのような目標のために実施しているかは薄れがちになってしまうことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者本人の希望や目標を聞き出すコミュニケーションの質の向上を認知症の学習会などで深めていく。時間の確保は体制上と現場での工夫と両側面から職員間で意見交換し検討していく。 ・個別外出を継続し本人のしたい気持ちをより多く、より深く掘りだしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年11月14日(16:45~17:15)

3. 日常生活の支援

メンバー 石丸・藤井・塩谷・大久保・小原・山下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	9	7	1	3	20

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・声に出せない利用者の家族からを行事に参加してもらい聞き取り行っていく。</li><li>・引き継ぎノートや気づきノートへの落とし込みが出来ていない時がある。定期的に役責からも声掛けを継続する。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ちょっと寄りました」と来てくださる方もいて、家族が立ち寄りやすい関係は作れている。行事は参加を促すも日程が合わず参加が難しかった。</li><li>・引継ぎノートでの引継ぎは継続してできた。読み切れてない職員もいて課題は残る。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	2	3	10	5	20
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	7	8	2	3	20
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	10	2	4	20
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	6	11		3	20
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	4	13		3	20

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・食事形態の見直しや、少しでも摂取量が増えるように相談して工夫し提供方法を検討できた。ミーティングで評価し職員共有している。</li><li>・体調不良時の医療との連携。かかりつけ医や訪看などとの連携はスピード感をもって行うよう努力した。</li></ul>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・以前の暮らし方の把握は全利用者把握できてはいない。会話で聞き出しにくい方や家族が遠方の方などの生活史の把握が難しかった。</li><li>・普段の会話で以前の生活を聞いても会話の一部として聞き流して職員間での共有までに至っていないこともあった。</li><li>・引継ぎノートに記載内容が多く、把握しきれないこともあった。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・引継ぎノートでの情報の共有化を再徹底。</li><li>・まず生活史の掘り出しに担当の介護職員は利用者のケース記録をすべて読み直す。その中での情報を会議で発信し再共有する。</li><li>・訪問や日々の援助を出来る範囲で同行する機会を作り、お互いの援助内容について助言しあう。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 14 日 (16 : 45～17 : 15)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 石丸・藤井・塩谷・大久保・小原・山下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2	8	1	9	20

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・担当者会議の内容の職員周知が不十分だったので、会議での時間を使って担当者会議の内容を伝える。</li><li>・地域の資源などに対してどのようなものが資源になるかも理解が不十分。部門内の学習会などで全員の理解を深める。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・会議やミーティングで担当者会議の内容を継続して伝えられた。</li><li>・学習会は実施できた。ただ、全体の周知には余地があり、学習会の企画担当を順に回して準備の時から理解も促す。学習会は継続していく必要がある。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	2	7	5	6	20
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	8	4	7	20
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	3	7	4	6	20
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	5	7	7	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・CM と介護職と一緒に担当者会議に出席することで、自宅で本人や家族とコミュニケーションを取れ在宅生活をより把握することが出来た。</li><li>・利用のない日の安否確認の連絡で休みの日の過ごし方を記録し、より在宅での様子が見えるようになった。</li><li>・利用者が自宅から買い物に行ける店舗での買い物動向を継続し、店舗の方も少しずつ利用者のことをわかるようになってきている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・利用者によって生活スタイルの把握や地域との関係性はばらつきがある。地域との関係の気付きや理解に関して職員にも把握のばらつきがある。</li><li>・学習会などで地域の資源について話し合い知ることができたが、どう利用者とうまく結びつけていくかはもっと検討の余地がある。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・サービスのない日の安否確認の電話の内容を記録に残し、何をしていたか聞いていく。担当職員がとりまとめ在宅時の生活の理解を深める。</li><li>・本人の若いころのアルバムを持参してもらい一緒に見て人間関係や生活史を聞き取る。それを記録に残し職員間でも共有する。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 15 日 (14 : 30～15 : 15)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 石丸・藤井・塩谷・大久保・小原・山下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	10	5	3	2	20

前回の改善計画

- ・まず学習会などを通して、社会資源とは何かを理解する。
- ・社会資源を理解した上で利用者にどのように活用してもらえるかを事業所として考えていく。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・学習会は実施。ただ、もっと深く理解する必要がある。
- ・地域の資源はまずどのような資源があるかと知ることがまだ不足している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	7	5	20
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	10	1	3	20
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	9	8	1	2	20
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	9	7	2	2	20

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域の方から本人のゴミの出し方について意見がありすぐに改善策を地域の方と考えるなど、早急な対応が出来た。
- ・独居の方の急な体調不良時の対応で臨時の宿泊対応をしたり、利用時間を延長するなどその方の生活環境に応じた柔軟な対応をした。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・本人や家族への会話の中で、地域の資源についての話はまだまだ不足している。
- ・柔軟で迅速な対応をする中で、情報の共有が追い付かない点がある。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・地域の社会資源や利用者との結びつきは継続した学習会で理解を深める。
- ・職員が参加しやすいサービス連絡会の交流会に積極的に参加し、地域の事業所や役員の方と関係を作っていく。また、その様子を会議やミーティングで話し合い出席した職員以外にも周知をする。
- ・利用者の変化に適切な対応を取るために知識を増やす。学習会の議事録にはその中で議論した内容も記載し参加できなかった職員にも理解しやすいようにしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 15 日 (14 : 30~15 : 15)

6. 連携・協働

メンバー 石丸・藤井・塩谷・大久保・小原・山下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	6	7	6	20

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域の方にも知ってもらえるような行事やイベントの開催。フリマーケットなどを企画していきたい。</li><li>・町内行事の参加。</li><li>・大学生のボランティアや保育所の園児を積極的に呼び込むなど、様々な人が出入りできるような企画を行う。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・事業所での行事に地域の方や学生ボラ、園児を呼び込むことはできなかった。</li><li>・初めて地藏盆に参加。役員と利用者も少数の参加だが、第一歩にはなった。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	3	3	3	11	20
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	2	1	15	20
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	1	1	4	14	20
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	2	1	16	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・近隣の方を行事に誘ったり、スイカ割りのおすそ分けをしたりした。反対に花の苗を頂いたり、地域の祭りの神輿の通る時間を教えに来所されるなど関係が出来始めている。</li><li>・事業のパンフレットを近隣に配り知ってもらおうきっかけ作りを行った。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域包括との会議などは体制が許す限り参加しているが、出席するのが役員だったりと限定的だった。</li><li>・地域の各種機関・団体の活動などが土日の開催が多く、体制を取るのが難しい点があった。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・今年度参加させてもらった地藏盆では、地域の方からも非常に喜んでもらった。次年度は出来る限り多くの職員と利用者で参加し地域の方との交流を図る。</li><li>・事業の行事には今後も継続的に誘い掛けする。</li></ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 15 日 (16 : 45～18 : 00)

7. 運営

メンバー 石丸・藤井・塩谷・大久保・小原・山下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	7	7	5	20

前回の改善計画
・事業所の付近を通る方にはまず挨拶を行う。まず、交流の下地作りを行う。 ・小規模多機能の前事業所が取り組んでいた地域交流を聞き取り、小規模としても活かせるような行事企画に活かす。
前回の改善計画に対する取組み結果
・職員によってばらつきがある現状だが、心掛けて行えている。関係性はよくなっている印象は強い。 ・全事業所での聞き取りではバザーをしたことなどはあったが、日々の交流は小規模になって以降と大きく変わらない。これからの関係性づくりが重要。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているですか?	2	7	6	5	20
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	10	4	3	20
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	8	5	5	20
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	7	8	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・利用者・家族からの意見や要望は真摯に受け止め、事業所内ですぐに検討し対応出来ている。 ・利用者の地域の方からの意見もすぐに対応に努めている。 ・事業所の近隣の方とも積極的なコミュニケーションを心掛け良好な関係を築けて行っている。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・地域の多くの方を巻き込むような行事は企画実施共にできなかった。 ・事業所の職員として意見を言うことに躊躇したり、事業所の運営状況について情報が少なく意見も出せないことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・事業所、利用者自宅の地域でもともに地域の住民として挨拶や声掛けなどを継続して行う。 ・利用者や家族からの意見を日々の記録のほかに意見要望報告としても残し、会議での振り返りや対応の再検討などを行っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 15 日 (16 : 45～18 : 00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 石丸・藤井・塩谷・大久保・小原・山下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4	4	6	6	20

前回の改善計画
<ul style="list-style-type: none"><li>・会議内での学習会への参加のため、会議への出席率を向上する。</li><li>・学習会など勤務時間のため参加できないことがあるので、勤務表を組む前に参加の意思を役席と一緒に確認する。</li><li>・資格取得の継続的な挑戦を行う。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none"><li>・会議は年間で決まった日程で行っているが、家庭の事情などもあり出席率は低くなっている印象。</li><li>・学習会などの出席は役責からの促しが少なかった点や情報の少なさや、情報収集の仕方がわからなかった点もありうまく機能しなかった。</li><li>・奮闘があり介護福祉士に3名が合格できた。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	2	8	1	9	20
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	6	2	9	20
③	地域連絡会に参加していますか	1	2		17	20
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	5	3	10	20

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・個別研修や資格取得が出来た。勤務時間内での学習も当然必要で個々の奮闘も大きかった。</li><li>・勤務により出席できない時はあっても、出来る限り会議には出席し毎回の学習会でも学ぶことが出来た。</li></ul>

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"><li>・時間外の会議や研修などは家庭の状況によって出席できないこともありばらつきが出る。</li><li>・地域連絡会には特定の職員は参加できたが多くの職員が直接かかわることはできなかった。</li></ul>

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none"><li>・法人内研修では時間の融通が利くこともあり最大限に活用してスキルアップに努める。</li><li>・役責からは継続して法人内外の研修の発信をする。各職員も自発的で積極的な情報収集を行い研修や学習でのスキルアップに努める。</li><li>・各職員が年間研修計画で特に興味ある分野・苦手としていて学習の必要を感じている分野の学習を自身で考えて身に着ける学習をしていく。</li></ul>



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和元年 11 月 15 日 (16 : 45～18 : 00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 石丸・藤井・塩谷・大久保・小原・山下

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	14	3	1	20

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"><li>・ミーティングでの利用者についての議論などの案を業務改善委員会で検討。</li><li>・バイタル表や排泄表が利用者に見える状態でフロアに置きっぱなしになっていることが多い。すぐに保管場所を検討し、年間通して行えるように定期的な意識付けを行っていく。</li></ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"><li>・個別の利用者の課題整理などを委員会で取り組むことが出来た。</li><li>・排泄表など決まった場所は作ることが出来た。ただ、フロアがバタついたときなどはまだ、見える状況にあることもあり継続した意識づけが必要。</li></ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	13	5	1	1	20
②	虐待は行われていない	15	4		1	20
③	プライバシーが守られている	5	13	1	1	20
④	必要な方に成年後見制度を活用している	8	8	1	3	20
⑤	適正な個人情報の管理ができている	8	9	2	1	20

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・前年度よりも身体拘束、虐待、権利擁護に関しては、学習会を続けていることもあり、少しずつ意識が高まっている印象。</li><li>・今利用者の権利を守れているかという視点と、振り返りもするように意識出来ている。</li></ul>	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"><li>・入浴や排泄など安全を優先するためとはいえ、職員の手が足りずに行動をちょっと待ってくださいと止めることがある。</li><li>・見守りをしながらのミーティングの時の利用者の状態把握は気を付けるようにしているが、どうしても他の利用者に聞こえてしまうことがある。</li></ul>	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"><li>・権利擁護に関する学習会を継続。学習会の準備担当を順に回すことで様々視点での学びをする。</li><li>・自身でプライバシーを守れていない状況に気付かない時がある。(トイレの戸が少し空いた状態で援助しているなど) 職員同士で肯定的で積極的な声の掛け合いを行っていく。</li><li>・外部の研修を受ける機会を作り、受けた職員による伝達研修で今の権利擁護について学ぶ機会を作る。</li></ul>	